



**「米艦の放射能測定せず」
日米政府の密約が発覚!**

米海軍の原子力艦船が日本に寄港した際、軍事機密を理由に大気中の放射能の増加の有無を確認する空中モニタリングを50m以内で行わないとの密約を日米両政府が結んでいたことが、国際問題研究者の新原昭治氏が米国で入手した米政府解禁文書で明らかになりました。

米政府は昨年4月に公表した「米原子力艦船の安全性に関するファクトシート」で、米原子力艦船が一度も「一般的なバックグラウンド放射能の増加を引き起こしていない」として、来年8月に原子力空母を配備しようとしています。

しかし、そもそも異常数値を記録させないような合意を交わしていたことが判明したことで、米政府が繰り返し主張する「安全性」が疑われることとなります。

第6回土建まつりは盛況でした!

9月23日、秋晴れのウェルニー公園で開催された土建まつりは、大変盛況でした。全国一般が県の大大会であったため、葉山議長に代わって挨拶を命じられましたが、土建の仲間の皆さんの“乗り”が大変よく、楽しく交流することができました(「衣笠診療所の美人の師長さんが医療班で来てるから、安心して楽しんで下さい」と言ったら、「本当に綺麗な人ですねえ!」と声を掛けられました)。

神奈川土建横須賀三浦支部では、運動会と土建まつりを1年交替で開催していますが、土建まつりは拡大月間の出陣式の位置づけがあります。池上中学のプラスバンドの演奏や、演歌歌手・亜留辺(あるべ)さんの「祭り音頭土建一筋」、生バンドによるベンチャーズの音楽など、楽しい催しが盛りだくさんでした(亜留辺さんのCDを買ったら、色紙にサインをしてくれた上、ツーショットで写真も撮らせ

て下さいました。横三労連から参加した二人は、横須賀市議団を交え、仲野委員長・二上副委員長と楽しく懇談、ついつい酒が進んで、あとでえらく苦しい思いをしました。1時間に1本しかないバスの時間に合わせて退去したのに、途中で畑野君枝さんに会ってしまい、結局バスに乗り遅れてしまいました。

三浦では、高層マンション建設ラッシュ!

中学校給食の民間委託構想に揺れた三浦市では、反対する1万4千の署名が提出され、市議会では継続審議になっています。一方この間、三浦市内各地で、高層マンション建設計画が出てきています。建物の密集した都会ならともかく、のどかな風景の広がる三浦でなぜ? その答えは、「風光明媚」を売り物にした戦略にあるようです。三浦海岸で計画が持ち上がった高層マンションは、「日時計」とあだ名されているとか・・・

